

2010年12月14日
株式会社日立製作所

中国吉林省長春市に鉄道車両用電気品の新工場設立を決定

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、中華人民共和国(以下、中国)における鉄道システム事業拡大を目的に、中国吉林省長春市に鉄道車両用電気品の新工場を設立することを決定しました。今後、日立、日立(中国)有限公司(董事長:大野 信行/以下、日立(中国))および永済新時速電機電器有限責任公司(董事長:徐印平/以下、永済)は、合弁会社である日立永済電気設備(西安)有限公司(董事長:徐印平/以下、HYEE)に対して計2,500万米ドル相当(約17,000万元、約21億円)*の増資を行い、HYEEの子会社として新工場を設立します。

現在、鉄道システム市場は、世界の多くの地域で新規建設や延伸、車両・システムの改良による高速化などの動きが活発化し、拡大しつつあります。特に駆動システムを含む車両用電気品分野は、鉄道車両の効率化、信頼性の向上に大きく貢献するものであり、新規建設のみならず、車両の改良に対応する需要も今後拡大していくものと予測しています。その中でも中国市場は、2020年までに旅客専用線18,000kmの建設、地下鉄などの都市内交通網の整備、都市間を結ぶ鉄道網の整備が多数計画されており、それに伴う鉄道車両需要が急拡大しています。

このような背景から日立は、中国における鉄道車両用電気品の製造拠点として、2003年8月に中国北車集団傘下の永済と合弁で陝西省西安市にHYEEを設立し、2004年8月から鉄道車両用電気品(主変換装置、主制御装置、補助電源装置、空調・換気装置)を生産しています。このたび、中国鉄道部の高速鉄道車両増産に対応するため、2011年2月を目処に日立、日立(中国)および永済が計2,500万米ドル相当(約17,000万元、約21億円)の増資をHYEEに行い、新工場をHYEEの子会社として吉林省長春市に設立することとしました。

新工場は、中国北車集団傘下の長春軌道客車股份有限公司の高速車両専用工場の隣接地に約12.6万㎡の敷地を確保し、2012年春から操業を開始する予定です。当初は50台/月の生産能力で、高速車両向け電気品(主変換装置、補助電源装置)を中心に製造を開始し、今後、拡大する需要を見ながら順次生産品目と生産能力を拡大していきます。

また、HYEEの生産能力を、2011年春を目処に現在の50台/月から80台/月に拡大させ、2012年春には新工場とHYEEを合わせ、中国の鉄道車両用電気品分野において130台/月の生産体制を確立させる計画です。

鉄道システム事業は、日立が注力する「社会イノベーション事業」の重要な事業分野の一つであり、今後、伸張が期待される中国市場において更なる事業拡大を図っていきます。

■新工場(日立永濟電気設備(長春)有限公司 (仮称))の概要

会社名	日立永濟電気設備(長春)有限公司 (仮称) (英文名:Hitachi Yonge Electric Equipment (Changchun) Co., Ltd.) (仮称)
所在地	中国吉林省長春市長春緑園經濟開發区内
設立	2012年2月(予定)
資本金	1億元(約12.5億円)
出資比率	日立永濟電気設備(西安)有限公司 100%
代表者	董事長:徐印平
事業内容(当初)	鉄道車両用主変換装置、主制御装置、補助電源装置の製造、試験、販売、アフターサービス

■日立永濟電気設備(西安)有限公司の概要

会社名	日立永濟電気設備(西安)有限公司 (英文名:Hitachi Yonge Electric Equipment (Xi'an) Co., Ltd.)
所在地	中国陝西省西安市文景北路15号
設立	2003年8月
資本金	2.6億元(約32億円)(増資後)(予定)
出資比率	永濟新時速電機電器有限責任公司 50% 日立グループ 50% ((株)日立製作所 40%、日立(中国)有限公司 10%) (増資後)
代表者	董事長:徐印平
事業内容	鉄道車両用主変換装置、主制御装置、補助電源装置 空調・換気装置の製造、試験、販売、アフターサービス

* 換算レート:1米ドル=6.8元、1元=12.5円

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
